

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 5 月 21 日 (2009.5.21)

【公表番号】特表 2008-537794 (P2008-537794A)

【公表日】平成 20 年 9 月 25 日 (2008.9.25)

【年通号数】公開・登録公報 2008-038

【出願番号】特願 2008-505459 (P2008-505459)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

B 2 9 C 55/08 (2006.01)

B 2 9 L 7/00 (2006.01)

B 2 9 L 11/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 5/30

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

B 2 9 C 55/08

B 2 9 L 7:00

B 2 9 L 11:00

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 6 日 (2009.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複屈折性第 1 ポリマーから成る第 1 相 (6) と、前記第 1 相 (6) 内で分散された実質的に非複屈折性の第 2 ポリマーから成る第 2 相 (8) とを含む偏光フィルム (4) であって、前記第 1 相 (6) と前記第 2 相 (8) との間の屈折率の差が第 1 軸に沿って 0 . 0 5 より大きく、前記第 1 軸に直交する少なくとも 1 つの軸に沿って 0 . 0 5 より小さく、電磁放射線の少なくとも 1 つの偏光状態について少なくとも 1 軸に沿ってまとめられた前記第 1 相 (6) 及び前記第 2 相 (8) の拡散反射率が少なくとも約 3 0 % であり、そして前記相 (8) は、1 . 5 3 ~ 1 . 5 8 の屈折率を有し、そして

前記第 2 相 (8) 中の第 2 ポリマーが、ポリカーボネート類 (P C) と、コポリカーボネート類と、ポリスチレン - ポリメチルメタクリレートコポリマー類 (P S - P M M A) と、P S - P M M A - アクリレートコポリマー類と、ポリスチレン無水マレイン酸コポリマー類と、アクリロニトリルブタジエンスチレン (A B S) と、A B S - P M M A、ポリウレタン類、ポリアミド類、スチレン - アクリロニトリルポリマー類 (S A N) と、ポリカーボネート / ポリエステル混合樹脂類、脂肪族コポリエステル類、ポリ塩化ビニル (P V C) と、ポリクロロブレンから成る群より選択される、偏光フィルム (4) 。

【請求項 2】

前記第 1 ポリマーが、P E N、P E N とポリエチレンテレフタレート (P E T) とのコポリマー類、P E T、ポリプロピレンテレフタレート、ポリプロピレンナフタレート、ポリブチレンテレフタレート、ポリブチレンナフタレート、ポリヘキサメチレンテレフタレート、ポリヘキサメチレンナフタレートから成る群より選択される、請求項 1 に記載の偏光フィルム (4) 。

【請求項 3】

光学フィルム（８４）の製造方法であって、

（ａ）複屈折性第１ポリマーから成る第１相（６）と、第１相（６）内で分散された第２ポリマーから成る第２相（８）とを含むフィルム（３２）を形成する工程で、前記第２ポリマーが、約１．５３～約１．５９の屈折率を有する工程と、

（ｂ）前記フィルム（３２）の対向する縁部を保持しながら、前記フィルム（３２）を機械方向に沿ってストレッチャー（５０）内へと搬送する工程と、

（ｃ）前記フィルムの対向する縁部を末広りの経路（５４）に沿って移動させることによって前記ストレッチャー（５０）内で前記フィルム（３２）を実質的に一軸延伸する工程であって、延伸後、前記第１相（６）と前記第２相（８）との間の屈折率の差が前記フィルム（３２）の表面に平行な平面内の第１軸に沿って０．０５より大きく、そして第１軸に直交する少なくとも１つの軸に沿って０．０５より小さい、工程とを含み、

（ｄ）前記第２ポリマーが、工程（ｃ）における延伸後に、実質的に正でない複屈折性であり、そして、前記第２ポリマーが、ポリカーボネート類（ＰＣ）と、コポリカーボネート類と、ポリスチレン-ポリメチルメタクリレートコポリマー類（ＰＳ-ＰＭＭＡ）と、ＰＳ-ＰＭＭＡ-アクリレートコポリマー類と、ポリスチレン無水マレイン酸コポリマー類と、アクリロニトリルブタジエンスチレン（ＡＢＳ）と、ＡＢＳ-ＰＭＭＡ、ポリウレタン類、ポリアミド類、スチレン-アクリロニトリルポリマー類（ＳＡＮ）と、ポリカーボネート/ポリエステル混合樹脂類、脂肪族コポリエステル類、ポリ塩化ビニル（ＰＶＣ）と、ポリクロロブレンから成る群より選択される、方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００３５】

フィルム構造内の第２ポリマーに適切な材料として、第１高分子材料に適切な水準の複屈折を発生させるのに用いられる条件下で配向されると実質的に正ではない複屈折性となる材料が挙げられる。適切な例として、ポリカーボネート類（ＰＣ）及びコポリカーボネート類、ポリスチレン-ポリメチルメタクリレートコポリマー類（ＰＳ-ＰＭＭＡ）、例えば、商品名「ＭＳ６００」（アクリレート含有率５０％）として京都市の三洋化成工業より入手可能な材料、「ＮＡＳ２１」（アクリレート含有率２０％）及び「ＮＡＳ３０」（アクリレート含有率３０％）としてペンシルバニア州ムーンタウンシップのノバケミカル（Nova Chemical）より入手可能な材料のようなＰＳ-ＰＭＭＡ-アクリレートコポリマー類、例えば、商品名「ＤＹＬＡＲＫ」としてノバケミカルより入手可能な材料のようなポリスチレン無水マレイン酸コポリマー類、アクリロニトリルブタジエンスチレン（ＡＢＳ）及びＡＢＳ-ＰＭＭＡ、ポリウレタン類、ポリアミド類、詳細には、ナイロン６、ナイロン６，６及びナイロン６，１０のような脂肪族ポリアミド類、ミシガン州ミッドランドのダウケミカルより入手可能な「ＴＹＲＩＬ」のようなスチレン-アクリロニトリルポリマー類（ＳＡＮ）、及び例えば商品名「Ｍａｋｒｏｂｌｅｎｄ」としてバイエルプラスチックス（Bayer Plastics）より入手可能なポリエステル/ポリカーボネート混合物、商品名「Ｘｙｌｅｘ」としてＧＥプラスチックス（GE Plastics）より入手可能なポリエステル/ポリカーボネート混合物、商品名「ＳＡ１００」及び「ＳＡ１１５」としてイーストマンケミカル（Eastman Chemical）より入手可能な材料のようなポリカーボネート/ポリエステル混合樹脂、並びに、例えばｃｏＰＥＴ及びｃｏＰＥＮを包含する脂肪族コポリエステル類、ポリ塩化ビニル（ＰＶＣ）、及びポリクロロブレンの材料のようなポリエステル類が挙げられる。